

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 杏林学園
理事長 松田博

杏林大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第(昭和23年法律第205号)12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	421人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	308人	323人	560.4人	看護業務補助	8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	1人	1人	1.0人	理学療法士	16人	臨床 衛生検査技師	93人
薬剤師	45人	0人	45.0人	作業療法士	6人		0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	15人	検査 その他	0人
助産師	103人	1人	103.1人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,297人	7人	1,301.9人	臨床工学技士	25人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄養士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	0人	0人	0.0人	歯科技工士	0人	事務職員	93人
管理栄養士	7人	1人	7.9人	診療放射線技師	55人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	848人	0人	848人
1日当たり平均外来患者数	2,137人	19人	2,156人
1日当たり平均調剤数	1,840剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間実外来診療日で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板に係るものに限る。)	6人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	59人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	37人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	52人	・原発性胆汁性肝硬変	104人
・全身性エリテマトーデス	383人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	6人
・再生不良性貧血	31人	・混合性結合組織病	58人
・サルコイドーシス	88人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	165人	・網膜色素変性症	115人
・特発性血小板減少性紫斑病	84人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	2人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	210人	・神経線維腫症	4人
・大動脈炎症候群	17人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	2人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	62人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	人
・脊髄小脳変性症	37人	・ライソゾーム病	人
・クローン病	66人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	31人
・悪性関節リウマチ	3人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	258人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	人	・肥大型心筋症	36人
・ハンチントン病	人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	33人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	26人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	4人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	52人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫、又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね1週間に2回 概ね1か月に9回
部 検 の 状 況	部検症例数 51例 / 部検率 7.10%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マイコプラズマ肺炎のマウスモデルの解析と治療への応用	後藤 元	内科学 I	千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,000	
肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	石井 晴之	内科学 I	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			700	
人工ガンマグロブリンの製剤化への安全性と臨床試験にむけた評価系の確立	有村 義宏	内科学 I	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			350	
難治性疾患克服研究の評価ならびに研究の方向性に関する研究	千葉 厚郎	内科学 I	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			1,500	
免疫性神経疾患に関する調査研究	千葉 厚郎	内科学 I	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			500	
心室細動の発現メカニズムの解明:新しい心臓突然死予知法の確立に向けて	池田 隆徳	内科学 II	千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
			700	
バーチャル心臓を用いた不整脈危険予測のための機能的モデリング手法の開発	池田 隆徳	内科学 II	千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
			100	
肺静脈閉塞症についての病理病態解明と診断基準確立のための研究	佐藤 徹	内科学 II	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			1,300	
プロスタグランジン-12合成酵素遺伝子を用いた肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療法の開発	佐藤 徹	内科学 II	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			1,000	
2型糖尿病の発症に果たす膵ラ氏島内マクロファージ浸潤の役割とその分子機構の解明	石田 均	内科学(III)	千円	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,800	
2型糖尿病症例におけるシタグリブチンの骨代謝改善作用に関する臨床的検討	石田 均	内科学(III)	千円	補 委 財団法人地域医学 研究基金助成金
			2,500	
肝がんの新規治療法に関する研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			2,000	
創薬化を目指したglypican-3由来がんペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			1,000	
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			400	
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(Phase III)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			200	

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			1,400	委	
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補	国立がん研究センター
			5,000	委	
抗悪性腫瘍薬による肝炎ウイルス再活性化の調査とその対応に関する研究	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補	国立がん研究センター
			700	委	
杏林大学におけるがん研究基盤の形成	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)	千円	補	文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
			10,015	委	
加齢に伴う血管病変に対するアミノ酸トランスポーター標的療法の探索研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,500	委	
運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			3,000	委	
認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			2,700	委	
高齢者における加齢性筋肉減弱現象(サルコペニア)に関する予防対策確立のための包括的研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			2,000	委	
漢方方剤「抑肝散」によるアルツハイマー病BPSD軽減効果の検証-プラセボ対象無作為化臨床第2比較試験-	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			1,000	委	
高齢者に対する適切な医療提供に関する研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	厚生労働省 科学研究費補助金
			500	委	
老年疾患コホート研究を含む高齢者医療(医療技術、チーム医療等を含む)の標準化、治療データベース構築等に関する研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	国立長寿医療研究センター
			2,000	委	
老年医学的総合機能評価(CGA:comprehensive geriatric assessment)の研究開発及びCGA活用による地域連携の推進のための高齢者医療	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	国立長寿医療研究センター
			1,500	委	
加齢・認知度における脳皮質下病変の危険因子とその臨床的意義に関する縦断研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	国立長寿医療研究センター
			1,500	委	
高齢者の慢性疾患に伴う低栄養・サルコペニアの評価に関する研究	神崎 恒一	高齢医学	千円	補	国立長寿医療研究センター
			1,200	委	
近赤外線スペクトロスコピーを用いた認知症周辺症状の臨床評価	長谷川 浩	高齢医学	千円	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
			600	委	

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児への影響に関する研究	岡 明	小児科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			13,500		
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	岡 明	小児科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			1,500		
新規糖質ステロイド標的分子GLC CIIの機能解析	楊 國昌	小児科学	千円	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,000		
ネフローゼの病態における脱ユビキチン化酵素USP40の関与	西堀 由紀野	小児科学	千円	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,600		
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	杉山 政則	外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			500		
難治性膵疾患に関する調査研究	杉山 政則	外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			800		
胆道がん切除後補助療法の標準治療確立に関する研究	杉山 政則	外科学	千円	補 委	国立がん研究センター
			1,200		
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と構築	呉屋朝幸	外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			700		
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	井本 滋	外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			3,000		
心肺蘇生中の心電図解析に基づく抽出波形の早期認知システムの開発	山口 芳裕	救急医学	千円	補 委	総務省消防庁 消防防災科学技術研究推進制度
			520		
ウェーブレット解析に基づく心電図波形の高精度識別システムの構築	山口 芳裕	救急医学	千円	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			175		
包括的脳卒中センターの整備に向けた脳卒中の救急医療に関する研究	塩川 芳昭	脳神経外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			700		
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科的治療戦略の確立に関する研究	塩川 芳昭	脳神経外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			700		
未破裂脳動脈瘤の治療の評価技術の開発に関する研究	塩川 芳昭	脳神経外科学	千円	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
			800		
悪性神経膠腫に対する新規抗EGFR抗体・抗癌剤併用による治療法の開発	永根 基雄	脳神経外科学	千円	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,500		

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
悪性脳腫瘍幹細胞における薬剤耐性機構の解明と治療への応用	小林 啓一	脳神経外科学	千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,000		
悪性神経膠種に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	永根 基雄	脳神経外科学	千円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
			400		
稀少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同試験	永根 基雄	脳神経外科学	千円	補委	国立がん研究センター
			1,000		
難治性疾患克服研究事業脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	里見 和彦	整形外科	千円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
			1,000		
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	望月一男	整形外科	千円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
			250		
長寿科学総合研究事業 骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	市村 正一	整形外科	千円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
			2,000		
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	塩原 哲夫	皮膚科学	千円	補委	厚生労働省 科学研究費補助金
			55,000		
エフェクターT細胞と制御性T細胞の皮膚への遊走を調節する因子の解析	塩原 哲夫	皮膚科学	千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			3,300		
重症薬疹における制御性T細胞の機能低下を回復させる試み	狩野 葉子	皮膚科学	千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			1,500		
IgEの生理学的役割の解析	水川 良子	皮膚科学	千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			600		
血漿交換療法の確立のための奏効機序の解明	平原 和久	皮膚科学	千円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
			2,100		
がん外科治療における形成再建外科標準術式の確立に関する研究	多久嶋 亮彦	形成外科学	千円	補委	国立がん研究センター
			1,300		
微小循環可視化モデルを用いた褥瘡発生機序の解明	大浦 紀彦	形成外科学	千円	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
			900		
炎症後色素沈着の機序の解明と低痕傷創傷治癒に関する基礎的研究	栗田 昌和	形成外科学	千円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
			1,000		
伸展刺激がヒト間葉系幹細胞に及ぼす影響	栗田 昌和	形成外科学	千円	補委	文部科学省 科学研究費補助金
			2,700		

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生体電気インピーダンスを用いた 血行動態モニタリングの開発	白石 知大	形成外科学	千円	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
			2,600	
ポツリヌス毒による皮膚の血流および 生着域の改善	佐藤 卓士	形成外科学	千円	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
			600	
心房細動が吻合部血管閉塞に及ぼす 影響の実験的検討	匂坂 正信	形成外科学	千円	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
			500	
進行性腎障害に関する調査研究	奴田原 紀久雄	泌尿器科学	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			2,000	
レチノイン酸を用いた自己免疫性 眼炎症疾患の抑制の試み	慶野 博	眼科学	千円	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
			1,000	
Am80を用いた自己免疫性眼炎症 疾患における炎症制御の試み	慶野 博	眼科学	千円	補 委 財団法人 乙卯研究所研究助成
			800	
センチネルリンパ節理論による頭 頸部癌微少転移の解明と個別的 治療法の開発	甲能直幸	耳鼻咽喉科	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			800	
センチネルリンパ節理論による頭 頸部癌微少転移の解明と個別的 治療法の開発	永藤 裕	耳鼻咽喉科	千円	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
			800	
ラット神経因性疼痛モデルの完成 度評価	森山 久美	麻酔科学	千円	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
			1,300	

計 69

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Infect Chemother	Multicenter surveillance of adult atypical pneumonia in Japan: its clinical features, and efficacy and safety of clarithromycin	後藤 元	内科学(Ⅰ)
Am J Respir Crit Care Med	Inhaled granulocyte/macrophage-colony stimulating factor as therapy for pulmonary alveolar proteinosis	石井晴之	内科学(Ⅰ)
Eur Respir J	Clinical features of secondary pulmonary alveolar proteinosis: Pre-mortem cases in Japan	石井晴之	内科学(Ⅰ)
Journal of Clinical Oncology	Familial lung adenocarcinoma caused by the EGFR V843L germ-line mutation.	倉井 大輔	内科学(Ⅰ)
Cytokine and Growth Factor Reviews	High avidity cytokine autoantibodies in health and disease: Pathogenesis and mechanism	渡辺 雅人	内科学(Ⅰ)
J Am Soc Nephrol	siRNA-Based Therapy Ameliorates Glomerulonephritis.	要 伸也	内科学(Ⅰ)
J Biol Chem.	A novel transporter of SLC22 family specifically transports prostaglandins and co-localizes with 15-hydroxyprostaglandin dehydrogenase in renal proximal tubules.	要 伸也	内科学(Ⅰ)
臨床リウマチ	広範囲の血疱・下腿皮膚潰瘍を生じたANCA陽性 Churg-Strauss症候群の1例.	小西 文晴	内科学(Ⅰ)
腹膜透析2010	腹膜透析外来導入の確立.	要 伸也	内科学(Ⅰ)
Circulation Journal	Effects of landiolol, an ultra-short-acting β 1-selective blocker, on electrical storm refractory to class III antiarrhythmic drugs.	三輪 陽介	内科学(Ⅱ)
Heart Rhythm	Circadian variation of late potentials in idiopathic ventricular fibrillation associated with J waves: Insights into pathophysiology and risk stratification.	阿部 敦子	内科学(Ⅱ)
Circulation Journal	Circadian variation in out-of-hospital cardiac arrests due to cardiac cause in a Japanese patient population.	塚田 雄大	内科学(Ⅱ)
Circulation Journal	A Phase III, Multicenter, Collaborative, Open-Label Clinical Trial of Sildenafil in Japanese Patients With Pulmonary Arterial Hypertension.	佐藤 徹	内科学(Ⅱ)
糖尿病	2型糖尿病患者におけるボグリポース長期投与の臨床効果—糖尿病合併症に対するボグリポース長期投与の効果—	石田 均	内科学(Ⅲ)
J of Gastroenterology and Hepatology	Suppression of lymphangiogenesis induced by Flt-4 antibody in gastric low-grade mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma by Helicobacter heilmannii infection	高橋 信一	内科学(Ⅲ)
FEMS Immunol Med Microbiol	Helicobacter heilmannii can induce gastric lymphoid follicles in mice via a Peyer's Patch independent pathway	高橋 信一	内科学(Ⅲ)
Progress of Digestive Endoscopy	超音波内視鏡ガイド下膵仮性嚢胞ドレナージ術が有効であった1例	中村 健二	内科学(Ⅲ)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res.	Response Evaluation Criteria in Cancer of the Liver (RECICL) proposed by the Liver Cancer Study Group of Japan (2009 Revised Version).	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Cancer Chemother Pharmacol.	A phase II study of induction chemotherapy with gemcitabine plus S-1 followed by chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Br J Cancer.	Gemcitabine alone or in combination with cisplatin in patients with biliary tract cancer: A comparative multicentre study in Japan.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Clin Pharmacokinet.	Population pharmacokinetics of gemcitabine and its metabolite in Japanese cancer patients: impact of genetic polymorphisms.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Oncol Rep.	Pharmacokinetics of S-1 and CYP2A6 genotype in Japanese patients with advanced cancer.	長島 文夫	内科学(腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol.	Liver Cancer Working Group report.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol.	Phase I/II study of FOLFIRI in Japanese patients with advanced colorectal cancer.	長島 文夫	内科学(腫瘍科)
Cancer Chemother Pharmacol.	UGT1A1*1/*28 and *1/*6 genotypes have no effects on the efficacy and toxicity of FOLFIRI in Japanese patients with advanced colorectal cancer.	長島 文夫	内科学(腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol.	A conundrum for randomized controlled trials: experience from a small hepatocellular carcinoma trial.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Oncology.	Treatment Efficacy/Safety and Prognostic Factors in Patients with Advanced Biliary Tract Cancer Receiving Gemcitabine Monotherapy: An Analysis of 100 Cases.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Oncologist.	The incidence and epidemiology of hepatocellular carcinoma: a global and regional perspective.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
BMC Cancer.	Eastern Asian expert panel opinion: designing clinical trials of molecular targeted therapy for hepatocellular carcinoma.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Crit Rev Oncol Hematol.	Lessons from the comparison of two randomized clinical trials using gemcitabine and cisplatin for advanced biliary tract cancer.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Liver Int.	Issues and controversies of hepatocellular carcinoma-targeted therapy clinical trials in Asia: experts' opinion.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol.	Randomized Phase II Study of Gemcitabine plus S-1 Combination Therapy vs. S-1 in Advanced Biliary Tract Cancer.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Cancer Sci.	Phase I/II study of the pharmacokinetics, safety and efficacy of S-1 in patients with advanced hepatocellular carcinoma.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Biochem Biophys Res Commun.	Role of heat shock protein 47 in intestinal fibrosis of experimental colitis.	北村 浩	内科学(腫瘍科)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pharmacogenomics.	Gender-specific genomic profiling in metastatic colorectal cancer patients treated with 5-fluorouracil and oxaliplatin.	長島 文夫	内科学(腫瘍科)
Cancer Sci.	Phase II study of erlotinib plus gemcitabine in Japanese patients with unresectable pancreatic cancer.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Drug Metab Dispos.	Delayed elimination of SN-38 in cancer patients with severe renal failure.	長島 文夫	内科学(腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol.	A Phase I/II study of combined chemotherapy with mitoxantrone and uracil/tegafur for advanced hepatocellular carcinoma.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
J Dermatol.	Sorafenib-associated hand-foot syndrome in Japanese patients.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
Lancet Oncol.	Axitinib plus gemcitabine versus placebo plus gemcitabine in patients with advanced pancreatic adenocarcinoma: a double-blind randomised phase 3 study.	古瀬 純司	内科学(腫瘍科)
日本老年医学会雑誌	認知症の周辺症状と介護負担感に対する抑肝散長期投与の効果	神崎 恒一	高齢医学
Geriatr Gerontol Int	Effects of dehydroepiandrosterone supplementation on cognitive function and activities of daily living in older women with mild to moderate cognitive impairment	神崎 恒一	高齢医学
日本老年医学会雑誌	寝たきり	神崎 恒一	高齢医学
Geriatr Gerontol Int	Relationship between interleukin-6 and cerebral deep white matter and periventricular hyperintensity in elderly women	神崎 恒一	高齢医学
臨床精神医学	誘発電位および事象関連電位	古賀良彦	精神神経科学
The Journal of electroconvulsive therapy	A 6-month follow-up case report of regional cerebral blood flow changes in treatment-resistant depression after successful treatment with bilateral transcranial magnetic stimulation.	鬼頭 伸輔	精神神経科学
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Neuroanatomical correlates of therapeutic efficacy of low-frequency right prefrontal transcranial magnetic stimulation in treatment-resistant depression.	鬼頭 伸輔	精神神経科学
Journal International Society of LifeInformation Science	Decreased cross-sectional area of anterior thalamic peduncle in bipolar disorder: A fiber tracking study.	池田 暁史	精神神経科学
Langenbeck's Archives of Surgery	Quality assurance of pelvic autonomic nerve-preserving surgery for advanced lower rectal cancer - preliminary results of a randomized controlled trial	正木 忠彦	外科学
International Journal of Clinical Oncology	Rationale of pelvic autonomic nerve preservation in rectal cancer surgery based on immunohistochemical study	正木 忠彦	外科学
Surgery Today	Advanced ampullary carcinoma showing complete response to S-1	阿部 展次	外科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Digestive Endoscopy	Surgical indications and procedures for bleeding peptic ulcer	阿部 展次	外科学
胆道	内視鏡的乳頭切開術と内視鏡的乳頭拡張術の長期成績	阿部 展次	外科学
Digestive Surgery	Neurophysiologic investigation of anal function following double stapling anastomosis	松岡 弘芳	外科学
Surgery Today	The Development of New Instruments (NT forceps) for Thoracic Surgical Manipulations	田中 良太	外科学
乳癌の臨床	術前化学療法後に頸髄転移から呼吸不全を認めた進行乳癌の1例	伊東 大樹	外科学
Breast Cancer Res Treat	Phase III randomized adjuvant study of tamoxifen alone versus sequential tamoxifen and anastrozole in Japanese postmenopausal women with hormone-responsive breast cancer: N-SAS BC03 study	井本 滋	外科学
Diagn Pathol	Two cases of breast carcinoma with osteoclastic giant cells: are the osteoclastic giant cells pro-tumoural differentiation of macrophages?	井本 滋	外科学
Asian Pac J Cancer Prev	Prevention of Mammary Carcinogenesis in C3H/OuJ Mice by Green Tea and Tamoxifen	井本 滋	外科学
日本手外科学会雑誌	前腕遠位部尺骨・橈骨動脈の周囲に分布する末梢神経 Sihler染色による一解剖体の検討	宮内 洋	救急医学
骨折	多発外傷に伴う不安定型骨盤輪骨折の治療成績	大畑 徹也	救急医学
Circulation Journal	Circadian Variation in Out-of-Hospital Cardiac Arrests due to Cardiac Cause in a Japanese Patient Population	塚田 雄大	救急医学
Neuro-Oncology12	Predominant antitumor effects by fully human anti-TRAIL-receptor2 (DR5) monoclonal antibodies in human glioma cells in vitro and in vivo.	永根 基雄	脳神経外科学
脳神経外科ジャーナル 19(10)	テモゾロミド不応性悪性神経膠腫に対するペバシツマブ単独療法の治療効果	永根 基雄	脳神経外科学
Neuro-Oncology	テモゾロミド不応性悪性神経膠腫に対するアバステン単独療法の治療効果 (Abstract)	永根 基雄	脳神経外科学
脳神経外科速報 20	悪性神経膠腫に対するtemozolomide化学療法における耐性機序とその克服への道筋. 専門医に求められる最新の知識	永根 基雄	脳神経外科学
Lancet Neurol 10 (1):	Neuro-Oncology: continuing Multidisciplinary progress	永根 基雄	脳神経外科学
分子脳血管病vol9. No4	脳静脈系の病態と脳血管障害 硬膜動静脈瘻.	佐藤 栄志	脳神経外科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳神経外科速報vol 21	後大脳動脈遠位部動脈瘤に対する脳血管内治療	佐藤 栄志	脳神経外科学
No Shinkei Geka38(8)	Orbitozygomatic approachにおける顔面神経損傷を防ぐための微小解剖.	野口 明男	脳神経外科学
J Neurosurg 113	High-definition fiber tractography and language (Response).	丸山 啓介	脳神経外科学
Current Insights in Neurological Science 18(2)	頭蓋底病変に対する経鼻的到達法	丸山 啓介	脳神経外科学
Neuro-Oncology18	中枢神経系リンパ腫に対する大量MTX療法単独による初期治療の検討. (High-dose methotrexate therapy with radiotherapy deferment for the central nervous system lymphoma)	小林 啓一	脳神経外科学
J Clin Rehab 20 (2)	脳腫瘍の疫学と分類脳腫瘍の疫学と分類	小林 啓一	脳神経外科学
The Mt. Fuji Workshop on CVD	急性期脳内出血に対する厳格な血压管理の有用性	脊山 英徳	脳神経外科学
Journal of Orthopaedic Science	Post-operative deep infection in tumor endoprosthesis reconstruction around the knee.	森井 健司	整形外科科学
Anticancer Research	Inhibition of heat shock protein 27 expression eliminates drug resistance of osteosarcoma to zoledronic acid.	森井 健司	整形外科科学
東日本整形災害外科学会雑誌	頸椎症性筋萎縮症の臨床的検討.	高橋 雅人	整形外科科学
日本皮膚科学会雑誌	皮膚科セミナーウム 薬疹 固定薬疹	塩原 哲夫	皮膚科学
Med Clin North Am	Visceral involvements and long-term sequelae in drug-induced hypersensitivity syndrome.	狩野 葉子	皮膚科学
Clin Exp Dermatol	Nonpigmenting fixed drug eruption as a possible abortive variant of toxic epidermal necrolysis: immunohistochemical and serum cytokine analyses.	塩原 哲夫	皮膚科学
日本小児皮膚科学会雑誌	小児の薬疹の特徴	狩野 葉子	皮膚科学
Dermatology	Lichen planus occurring after influenza vaccination: report of three cases and review of the literature.	塩原 哲夫	皮膚科学
Allergol Int	Recognition of immune reconstitution syndrome necessary for better management of patients with severe drug eruptions and those under immunosuppressive therapy.	塩原 哲夫	皮膚科学
Clin Exp Dermatol	Differences in immunological alterations and underlying viral infections in two well-defined severe drug eruptions.	平原 和久	皮膚科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会雑誌	下肢蜂窩織炎のリスクファクター: 教室入院例の prospectiveな検討	岡崎 亜希	皮膚科学
J Dermatol	Efficacy of plasmapheresis for the treatment of severe toxic epidermal necrolysis: Is cytokine expression analysis useful in predicting its therapeutic efficacy?	塩原 哲夫	皮膚科学
Hum Mol Genet	Genome-wide association study identifies HLA-A*3101 allele as a genetic risk factor for carbamazepine-induced cutaneous adverse drug reaction in Japanese population.	塩原 哲夫	皮膚科学
形成外科	難治性潰瘍に対するトレチノイン短時間接触療法 of 臨床経験	木下 幹雄	形成外科学
形成外科	遊離皮弁に生じた高度色素沈着をトレチノイン軟膏 漂白療法とQスイッチレーザーの併用で治療した1例	渡辺 玲	形成外科学
Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg	Secondary Reconstruction of Vaginal Stenosis with Bilateral Pudendal Thigh Flaps	栗田 昌和	形成外科学
Ann Plast Surg	Alteration of arterial blood flow after free muscle transfer and its determinants	栗田 昌和	形成外科学
J Plast Reconstr Surg Hand Surg	Usefulness of microscope-based ICG videoangiography for detection of the dominant drainage vein in fingertip replantation	栗田 昌和	形成外科学
Plast Reconstr Surg	Feasibility of bionic reanimation of a paralyzed face: A preliminary study of functional electrical stimulation of a paralyzed facial muscle controlled with the electromyography of the contralateral healthy hemiface	栗田 昌和	形成外科学
Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg	Evaluation of Efficacy and Safety in Sclerosants for Intramuscular Venous Malformations; Clinical and Experimental Studies	尾崎 峰	形成外科学
Int J Urol	Association of circulating tumor cells with tumor-related methylated DNA in patients with hormone-refractory prostate cancer.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
In Vivo	Effects of eicosapentaenoic acid on biochemical failure after radical prostatectomy for prostate cancer.	東原 英二	泌尿器科学
Asian J Endosc Surg	Comparison of laparoscopic and open adrenalectomy for pheochromocytoma in a single center.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
Int J Urol	Alternative antiandrogen therapy in patients with castration-resistant prostate cancer: a single-center experience.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
泌尿器外科	前立腺肥大症におけるタムスロシン塩酸塩の睡眠障害改善効果.	榎本 香織	泌尿器科学
日本泌尿器科学会雑誌	成人になって尿閉をきたした先天性膀胱憩室の1例.	藤田 直之	泌尿器科学
泌尿器外科	当院におけるStage C前立腺癌に対する内分泌単独療法と内分泌併用放射線療法の治療成績.	桶川 隆嗣	泌尿器科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Ophthalmol	Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitreoretinal Blade Trocar.	井上 真	眼科学
Br J Ophthalmol	Anti-inflammatory effect of retinoic acid on experimental autoimmune uveoretinitis.	慶野 博	眼科学
Clin Ophthalmol	Combined Vitreous and Cataract Surgeries in Highly Hyperopic Eye.	井上 真	眼科学
Clin Experiment Ophthalmol	Infrared and fundus autofluorescence imaging in eyes with optic disc pit maculopathy.	平岡 智之	眼科学
Br J Ophthalmol	Clinical features and visual outcomes of Japanese patients with scleritis.	慶野 博	眼科学
Acta Ophthalmologica	Histopathological examination of internal limiting membrane surface after scraping with diamond-dusted membrane scraper.	平形 明人	眼科学
Br J Ophthalmol	Decreased ocular inflammatory attacks and background retinal and disc vascular leakage in patients with Behcet's disease on infliximab therapy.	慶野 博	眼科学
日本眼科学会雑誌	急性網膜壊死の治療成績の検討.	渡辺 交世	眼科学
眼科臨床紀要	陳旧性外傷性下直筋断裂に下直筋縫合が有効であった1例.	鈴木 由美	眼科学
Acta Ophthalmol	Miyake-Apple view of inner side of sclerotomy during microincision vitrectomy surgery.	井上 真	眼科学
Invest Ophthalmol Vis Sci	Oral administration of retinoic acid receptor- α/β -specific ligand, Am80 suppresses experimental autoimmune uveoretinitis.	慶野 博	眼科学
日本気管食道科学会会報	S-1隔日投与併用放射線治療の検討	永藤 裕	耳鼻咽喉科学
JOHNS	【頭頸部腫瘍診療における論点 下咽頭喉頭頸部編】下咽頭癌に対する導入化学療法は必要か? 必要とする立場から	山内 宏一	耳鼻咽喉科学
Annals of Surgical Oncology	Feasibility of ICG Fluorescence-Guided Sentinel Node Biopsy in animal Models using the HyperEye Medical System.	山内 宏一	耳鼻咽喉科学
Endocrin J	Tumor necrosis factor- α (TNF- α) inhibits insulin-like growth factor-I (IGF-I) activities in human trc through IGF-I/insulin hybrid receptors	橋本 玲子	産科婦人科学
産と婦	レーザーによる円錐切除術2(KTPレーザー)	松本 浩範	産科婦人科学
産婦治療 増刊	産婦人科救急のすべて, C. 産科救急の診療, 分娩時異常大出血	谷垣 伸治	産科婦人科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産と婦 増刊号	破水診断法	和地 祐一	産科婦人科学
日産婦東京会誌	神経内分泌分化を伴った卵巣癌の1例	井上 慶子	産科婦人科学
日産婦関東連会誌	婦人科感染症 ・卵巣癌が疑われた性器結核の1例	片山 素子	産科婦人科学
内科 増大号	内科疾患の診断基準・病型分類・重症度、性腺機能低下症	岩下 光利	産科婦人科学
日産婦東京会誌	卵巣扁平上皮癌の1例	井上 慶子	産科婦人科学
産婦の実際 臨時増刊	外来診療マニュアル, 子宮筋腫・腺筋症	岩下 光利	産科婦人科学
日産婦東京会誌	後腹膜嚢胞性腫瘍を呈した子宮平滑肉腫の1例	片山 素子	産科婦人科学
日産婦東京会誌	多発子宮筋腫に対するUAE後、塞栓されず子宮頸管内に突出した筋腫に対する腔式核出術	井澤 朋子	産科婦人科学
日産婦東京会誌	深部静脈血栓症治療中に発症したヘパリン起因性血小板減少症の1例	渡邊 百恵	産科婦人科学
ペリネイタルケア	分娩機序から学ぶ、正常・異常の判断と対応、第3回旋、第4回旋と異常(肩甲難産)への対応	谷垣 伸治	産科婦人科学
日産婦誌	M-D twinとD-D twinの臨床病態の違いについて	谷垣 伸治	産科婦人科学
日産婦関東連会誌	胸部症状を契機に選択的帝王切開術を施行した肺高血圧症合併妊娠の1例	怒谷 麻里子	産科婦人科学
J cell Physiol	Polymerization of insulin-like growth factor-binding protein-1 (IGFBP-1) potentiates IGF-I actions in place	澁谷 裕美	産科婦人科学
周産期医学 増刊号	異常分娩と分娩時偶発症(合併症)への対応 頸管裂傷	酒井 啓治	産科婦人科学
Journal of Magnetic Resonance Imaging	Hybrid of opposite-contrast MRA of the brain by combining time-of-flight and black-blood sequences: initial experience in major trunk stenooclusive diseases.	土屋 一洋	放射線医学
Journal of Computer Assisted Tomography	Hybrid of opposite-contrast magnetic resonance angiography of the brain by combining time-of-flight and black-blood sequences: its value in moyamoya diseases.	土屋 一洋	放射線医学
臨床麻酔「臨時増刊号」	循環血液量の変化からみた輸液反応性と輸液療法	飯島 毅彦	麻酔科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
新薬と臨床	慢性疼痛におけるデュロテップMTパッチの有用性	窪田 靖志	麻酔科学
日本臨床麻酔学会誌	妊娠15週に胸腔鏡下手術を施行した自然気胸の1例	東 佑佳	麻酔科学
Journal of Thoracic Oncology	Down-regulated ABCG2 enhances sensitivity to topoisomerase I inhibitor in epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor(EGFR TKI)-resistant non-small cell lung cancer(NSCLC)	大塚 弘毅	臨床検査医学
Clinical Chemistry and Laboratory Medicine	Low Concentrations of serum n-3 polyunsaturated fatty acids in non-alcoholic fatty liver disease patients with liver injury	岸野 智則	臨床検査医学
Journal of Clinical Oncology	Familial lung Adenocarcinoma caused by the EGFR V843I germ-line mutation	大塚 弘毅	臨床検査医学
Medical Practice 27:1713-1716, 2010.	脳卒中急性期リハビリテーション.	岡島 康友	リハビリテーション医学
Arch Phys Med Rehabil 91: 1210-1217, 2010.	Three-dimensional movement analysis of handwriting in subjects with mild hemiparesis.	岡島 康友	リハビリテーション医学
作業療法ジャーナル 45: 190-196, 2011.	脳卒中の病態とリスク管理.	岡島 康友	リハビリテーション医学
Clin Neurophysiology 121(Suppl 1): S51, 2010.	Spasticity reduction by inhibitive orthosis.	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
リハビリテーション医学 47: 384-386, 2010.	新生児集中治療室(NICU)におけるハイリスク児の予後.	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
Clinician 57 (No.592): 82-88, 2010.	ロコモティブシンドロームと腰痛	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
リハビリテーション医学 47: 615-619, 2010.	小児リハビリテーション問題症例の検討.痙縮抑制装置療法が有効であった痙直型両麻痺の1症例.	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
総合リハビリテーション 38: 1125-1134..	Stroke Unitで用いられる臨床指標.	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
臨床リハビリテーション 20: 127-132, 2011.	脳卒中急性期の摂食機能療法.	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
作業療法ジャーナル 44: 963-967, 2010.	作業療法の臨床に役立つ中枢神経の画像診断—症状・障害からみた機能解剖と画像所見.	山田 深	リハビリテーション医学
作業療法ジャーナル 44: 1042-1047, 2010.	作業療法の臨床に役立つ中枢神経の画像診断—脳梗塞(1)総論, および内頸動脈系の脳梗塞画像所見.	山田 深	リハビリテーション医学
作業療法ジャーナル 44: 1185-11190, 2010.	作業療法の臨床に役立つ中枢神経の画像診断—脳梗塞(2)椎骨脳底動脈系, およびラクナ梗塞, その他.	山田 深	リハビリテーション医学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
作業療法ジャーナル 44: 1266-1272, 2010.	作業療法の臨床に役立つ中枢神経の画像診断－ 脳出血、クモ膜下出血、硬膜下血腫.	山田 深	リハビリテーション医学
作業療法ジャーナル 44: 1400-1405, 2010.	作業療法の臨床に役立つ中枢神経の画像診断－ 脳外傷・脳腫瘍.	山田 深	リハビリテーション医学

計 155

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 甲能 直幸
管理担当者氏名	医療安全管理室長 高橋 信一 看護部長 道又 元裕、事務部長 中野 利晴 副部長 高戸谷 繁通、野尻 一之、山崎 昭、庶務課長 天良 功、 医事課長 野尻 一之(兼務)、高戸谷 繁通(兼務)、薬剤部長 永井 茂 診療情報管理室長 奴田原 紀久雄、検査部長 渡邊 卓、放射線部長 似鳥 俊明 検査部技師長 大藤 弥穂、放射線技師長 大戸 真喜男、 医学部事務部 部長 黒田 雅夫

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		関係各部署	入院、外来等については、 一患者一ファイル方式とし、 管理している	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	人 事 課		
	高度の医療の提供の実績	医 事 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医 学 部		
	高度の医療の研修の実績	各 診 療 科		
	閲覧実績	庶 務 課		
	紹介患者に対する医療の提供の実績	地域医療連携室		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶 務 課 薬 剤 部		
	第一規則 第一条に 掲げる体 制の確保 の状況 及び第九 条の二十 三第一項	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室			

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室
		感染症の発症状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬 剤 部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬 剤 部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	病 院 管 理 部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨 床 工 学 室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨 床 工 学 室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨 床 工 学 室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・指針の主な内容： 医療安全管理の基本的考え方。リスクマネジメント委員会、医療安全管理室の主な役割、医療安全管理のための職員研修実施の基本方針。事故発生後の対応方針。 医療従事者と患者及びその家族等との情報共有の基本方針、他。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・活動の主な内容： インシデント事例等の原因分析、改善策立案及び職員への周知。リスクマネジメント委員会で立案した改善策の実施状況調査と見直し。職員研修の企画・実施。 (平成 2 2 年度活動例) ; 救急カート搭載薬品の改訂、抑制 (身体拘束) 実施に関するマニュアルの改訂、転倒・転落アセスメント用紙の改訂、呼吸に関する医療看護行為後の安全チェックリストシートの改訂、持参薬取扱要綱の改訂、術前・検査前の休薬基準の改訂	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 4 回
・研修の主な内容： 医療安全管理に関する基本的な考え方と具体的方策及び職員の責務、当院及び他の医療機関で発生した事例の原因と改善策等 (平成 2 2 年度実施例) ; リスクマネジメントの基本、医薬品の安全使用のための研修、医療機器安全管理のために、臨床における倫理について、安全医 MRI 検査を行うために、CVC 挿入・管理の体制について	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： 専任リスクマネージャーの職場巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、リスクマネージャーの事例検討による改善策の立案、インシデントレポートの検討・改善策の立案、院内広報誌での改善策の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、医療安全情報 (医療機能評価機構) 等の伝達、学内 LAN への重要な決定事項の掲載、他。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 (2 名) <input type="radio"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 (3 名) <input type="radio"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・所属職員： 専任 (1 0) 名 兼任 (2 7) 名 ・活動の主な内容： リスクマネジメント委員会で用いられる資料、議事録の作成・保存及び委員会の庶務。事故等に関する診療録・看護記録等の記載内容確認及び指導。事故発生時の患者等への対応状況の確認及び指導。事故等の原因究明の適切な実施の確認及び指導。医療安全に関する連絡・調整、他。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 院内感染防止対策に関する基本的考え方。院内感染防止委員会・ICTの役割。 院内感染防止対策のための職員研修実施の基本方針。院内感染発生時の報告と対策に対する基本方針。指針改定及び閲覧に関する基本方針。他 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 重大な院内感染発生時の原因分析、改善策立案及び職員への周知、院内感染防止委員会・ICTで立案した改善策・指導の実施状況調査と見直し。職員研修の企画実施。 (平成 22 年度活動例) 多剤耐性緑膿菌発生の対応、結核発生に対する対応及び健康診断の計画・実施、針刺し等血液曝露対応マニュアル等、各種マニュアルの制定・改訂、実習前の抗体検査及びワクチン未接種での「実習の行う際の申請書」・「実習受け入れ申請書」の運用導入、等 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 11回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 院内感染防止に関する基本的な考え方。感染症発生時の対応方法。当院及び他の医療機関で発生した事例の原因と改善策。 (平成 22 年実施例) 血流感染防止、手術部位感染防止、冬季に流行する感染症、多剤耐性菌対策等、他 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (① ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTの病棟巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、院内広報誌での改善策の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、学内LANへの重要な決定事項の掲載、インфекションコントロールマネージャー(各部署の院内感染担当者)を通じた決定事項の伝達と評価 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ リスクマネジメント講習会でインシデント事例の報告・ 研修医に対する処方せんの記載法について・ 看護師による静脈注射が可能な薬剤の注意点について・ インスリン注射薬の選択・薬剤の管理と投与方法について・ 有効な消毒方法とは。。・ カテーテル関連血流感染症における抗菌薬の適正使用	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<p style="margin-left: 40px;">手順書の設置と手順書に基づく実施状況は、部署別リスクマネージャーによる実施確認書の提出で確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 「休薬期間が必要な内服薬」の誤入力防止のため、オーダーリング画面の表示を改善。・ 抗凝固薬など手術前の休薬期間を統一し、各科共通の説明書を作成した。・ 安全使用のため持参薬取扱要綱を改訂した。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定医療機器に関して年2回以上の計画をたてそれに沿って行っている。 (特定医療機器：人工呼吸器・血液浄化器・除細動器・閉鎖式保育器 など) ※新規導入医療機器については、使用方法・不具合の対処等を導入時に診療科もしくは部署単位で実施している (適宜実施) 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有)・無 ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 機器毎の保守点検マニュアルに沿って、日常点検及び定期点検 	
④ 医療機器の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 添付文書・取扱説明書等は、臨床工学室で担当者を決めて保管・管理を行う ・ 安全性情報等は臨床工学室で情報収集し、医療安全管理室・病院管理部と連携する。 ・ 医療機器の不具合情報を入手した場合は速やかに関連部署に連絡し医療機器安全管理責任者・医療機器管理委員長・医療安全管理室に連絡し必要な対応を行う 	